

建設会報 いずも



No.126 2013年 新春号



表紙説明



昨年7月21日から11月11日までの114日間にわたり、日本最古の歴史書「古事記」編纂1300年を記念して、出雲大社周辺を主会場に「神話博しまね」が開催されました。

また、出雲大社は、現在60年に一度の平成の大遷宮の最中であり、本年5月10日に「本殿遷座祭」が行われることになっております。

表紙となっている「神門通り」は、出雲大社への参詣道に相応しい景観を形成し、賑わいのある、人々が安全・安心に通行できるよう電線類地中化を進め、また車道・歩道を石畳にし、歴史的で、神聖な、そして落ち着いた道路となりました。この石畳は、一畑電鉄「出雲大社前駅」から出雲大社正門までの約330mにわたり御影石一万枚強を使用し、松並木や通りに面した古い町並みとの調和を図った地域振興策の一環として島根県が公共工事として整備したものです。



C O N T E N T S



▶ 巻頭言 / 中筋 豊通〔一般社団法人島根県出雲地区建設業協会会長〕	1
▶ 新年のご挨拶	
/ 舘 健一郎〔出雲河川事務所長〕	3
/ 城市 正喜〔出雲労働基準監督署長〕	3
/ 黒田 耕一〔出雲県土整備事務所長〕	4
/ 石倉 繁樹〔出雲警察署長〕	4
▶ 平成23年度施工優良工事表彰 / 表彰一覧	5
▶ 親睦旅行『台湾研修旅行記』 / 寄貞 隆夫〔(有)和田建設〕	7
▶ 経営研修会のご報告 / 日下 雅彦〔経営改善研究委員長〕	8
▶ しあわせになろうよ!! / 山崎 章弘〔(株)山崎組〕	9
▶ 年男の抱負 / 勝部 和則〔大福工業(株)〕	10
▶ 各委員会活動状況	11
▶ インターンシップ体験談	13
▶ 新分野事業を始めて / 山根 強〔(有)山根建設〕	15
▶ 第25回 サラリーマン川柳	17
▶ 「ありがとうございました」 / 大瀧 光枝 〔一般社団法人島根県出雲地区建設業協会事務局〕	19
▶ 編集後記 / 三原 昇〔経営改善研究委員〕	20





みずのと

み

癸 巳

「新たなる風、謙虚に」

一般社団法人 島根県出雲地区建設業協会
会 長 中 筋 豊 通

平成二十五年「癸巳年」、明けましておめでとうございます。皆様におかれましては、素晴らしい新春をお迎えのことと、お慶びを申し上げます。

さて、「近いうちに」野田総理の、この言葉によって突如行われた「衆議院総選挙」、民主自滅、第三極の乱立、結果は自民の圧勝、国民は政治に大きな変化を求めました。

12月26日、自公連立の安倍政権が誕生。

デフレ・円高からの脱却を目指し、大規模な補正予算を編成、さらに切れ目のない経済対策を実行し、名目3%以上の経済成長を達成。明確な物価目標2%を設定。日銀法改正も視野に大胆な金融緩和も行おうとしています。

また、公明党の公約には、「補正を10兆円規模。防災・減災対策として10年間に100兆円規模の事業を展開する」とあります。

早急に国民の期待に応えることが出来るでしょうか、自公は大規模災害に備えた防災・減災対策を増額する方針。笹子トンネルの天井崩落事故を受け、老朽化設備の維持・補修対策も盛り込まれるでしょう。

「また、ばらまきか、公共事業に頼るのか・・・」そんな批判を受けないような、短期的に効果が発揮できる事業、必要な事業で、国民が納得する事業で大型補正予算を組み、デフレから脱却できるのでしょうか。

まさに、新年早々から真価が問われる安倍政権です。

「巳」辞書を引くと、み。十二支の第六位、陰暦の四月。東南と東南東の間、午前十時、火、蛇。子。胎児。物事がたけなわである頃。萬物が盛に現れる意。おこる。つく。さだまる。等々があります。プラス思考で考えれば、勢いのある年、新たなことが生まれる年、スタートできる年ではないでしょうか。

民主党政権下、「コンクリートから人へ」公共事業は悪、建設産業界にとって厳しい３年でした。しかし、大震災、原発事故、台風、豪雨、豪雪、天井版崩落事故等々、人々の安全・安心は侵されました。

財政難の中、様々な問題が絡み合い、日本は窮地に立たされています。税、社会保障、外交、エネルギー、教育、ＴＰＰ、少子・高齢化・・・問題山積です。

厳しい状況下ですが、新しい年が、素晴らしい日本の始まりの年であって欲しい。新政権により、変わろうとしている建設産業界ではありますが、私たちには果たさねばならない責務があります。「地域のために・地域と共に」やるべきことがあります。新発想での街創り。言い尽くされた言葉かもしれない、しかし、人々の安全・安心は我々が守る、地域の経済振興の担い手になる。そんな強い意志を持って、頑張っていこうではありませんか。

やりましょう、力を合わせ、みんなで、「追い風に驕ることなく、謙虚に」

ありがとうございました、本年も宜しくお願いいたします。





新年のご挨拶

国土交通省中国地方整備局
出雲河川事務所

所 長 舘 健 一 郎

平成25年の年頭にあたり、謹んで新年のお慶びを申し上げます。一般社団法人島根県出雲地区建設業協会の皆様方には、国土交通行政、とりわけ斐伊川水系の河川事業の推進へのご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

ご案内のとおり、斐伊川水系では、今後概ね20年間の河川整備の目標、河川工事、維持管理等の内容を定めた「斐伊川水系河川整備計画（国管理区間）」（平成22年9月策定）に基づき事業を進めています。治水事業に関しては、いわゆる治水3点セットの推進を重点として取り組んでいるところです。昨年は、3月末に尾原ダムが完成し、志津見ダムと併せた上流2ダムの運用が始まりました。7月の出水時には洪水調節を実施し、また、渇水時には、利水補給により、灌漑用水等の確保に貢献することが出来ました。中流部の斐伊川放水路事業におきましては、分流堰もほぼ完成し、平成24年度完成に向けた工事が進捗しています。下流部の大橋川改修についても、地元協議等が進み、3箇所において工事が本格化する状況です。これらについては、貴協会会員の皆様方のご協力の賜であり、改めて感謝申し上げます。

本年は、斐伊川放水路の完成、運用開始の年であり、斐伊川水系における節目の年となります。当事務所といたしましても、治水事業のさらなる推進による安全・安心の確保とともに、出雲地方が誇る豊かな自然環境の保全・再生にも一層力を入れて取り組んでいく所存です。出雲地方を支える基盤づくりを担う一員として、引き続き皆様方と力を合わせていきたいと思ひます。

最後になりましたが、貴協会の益々のご発展と会員の皆様方のご健勝とご多幸を祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。



新年のご挨拶

出雲労働基準監督署

署 長 城 市 正 喜

新年あけましておめでとうございます。

会員の皆様には、すがすがしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

日頃から労働基準行政とりわけ労働災害防止対策の推進に当たり、格別のご理解・ご協力を賜っておりますことを改めて厚くお礼申し上げます。

さて、平成24年11月末現在（速報値）における当署管内の建設業の労働災害発生状況（休業4日以上 の死傷災害）は、37人の発生で前年同期に比べ8人の大幅な増加（27.6%）となっております。

一方、死亡災害につきましては、昨年同時期には2人のところ、本年においては、幸いにも発生して おりません。関係各位の協力を得ながら、この状況を継続できればと願っているところです。

新しい年を迎えるに当たり、当署におきましても、建設業はもとより全産業において死亡災害等の 重篤な労働災害は発生させないとの強い信念の基に、監督指導・個別指導を引き続き実施することと してありますが、増加傾向にある建設業における労働災害の防止を図るためには、各事業者の皆様方 がリスクアセスメントを導入しこれを実施するなど自主的安全衛生活動を積極的に行っていただく ことが必要不可欠であると考えております。

昨年と同様に引き続き皆様方の一層のご尽力・ご努力を賜りたく存じますので、よろしくお願い 申し上げます。

最後になりましたが、一般社団法人島根県出雲地区建設業協会の益々のご発展と会員事業場の益々 のご活躍を祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。



新年のご挨拶

出雲県土整備事務所

所 長 黒田 耕一

新年明けましておめでとうございます。一般社団法人島根県出雲地区建設業協会の皆様方にはすがすがしい新春を迎えることと心よりお慶びを申し上げます。

また、平素より出雲圏域の社会基盤の整備や公共施設の維持管理に対し、格別のご理解とご協力をいただいておりますことに厚く御礼を申し上げます。特に昨年開催された大型観光イベント「神話博しまね」に際しては、様々なご配慮やご協力をいただきまして誠に有難うございました。

昨年は、多伎インター線、出雲三刀屋線船津工区などの幹線道路の開通、新内藤川水系の内水対策事業の本格化、河下港沖合防波堤の事業着手など本事務所が所管する事業が大きく実を結びまた展開する年でした。

本年は、出雲大社遷座祭という節目の年にあたり、国においては斐伊川放水路事業の完成、尾道松江線の中国縦貫自動車道三次JCT・ICまでの開通が予定されております。

出雲県土整備事務所としても観光ネットワークの形成・魅力づくりとして新二俣トンネル、大社神門通りを早期に完成させるとともに、浸水対策として低平地河川改修、土砂災害防止、大地震・老朽化に対応した構造物の補修、交通安全などの事業を強力に推進してまいります。

こうした取り組みを通じ、圏域の安全・安心の確保、活力の創出につながる社会基盤の一層の充実を図ってまいりますので、引き続き関係者の皆様のご協力をお願い申し上げます。

最後になりましたが、貴協会の益々のご発展と会員の皆様のご健勝、ご活躍を祈念いたしまして、簡単ではございますが新年の挨拶といたします。



新年のご挨拶

出雲警察署

署 長 石倉 繁樹

新年明けましておめでとうございます。一般社団法人島根県出雲地区建設業協会の皆様方におかれましては輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

また昨年中は、お忙しい業務の中、暴力団排除活動や交通安全活動、犯罪捜査等の警察業務の各般にわたり、格別のご理解とご協力を賜りましたことに対し厚く御礼申し上げます。

昨年中における島根県内の犯罪情勢は、刑法犯の認知件数は前年対比で若干減少傾向にあるものの、島根県立大学生死体遺棄等事件については未だに犯人の検挙に至っておらず、また、松江市内における女性行方不明事案の発生、更には交通死亡事故件数の増加など、県民の体感治安は決して良好とは言えません。このような社会情勢の中、危機管理機能の中樞を担う警察としては、本年も安心安全な社会を実現すべく、更なる諸対策を推進していく所存であります。

近年、暴力団は、主要三団体を中心に勢力拡大を図ると共に潜在性を高め、その上で建設工事等へ参入するなど、あらゆる資金獲得活動を行っています。

こうした中、平成23年4月に「暴力団事務所の進出阻止対策・暴力団の資金獲得活動の規制・祭礼等からの暴力団排除」を柱とする「島根県暴力団排除条例」が施行され、この出雲市におきましても、昨年4月に「出雲市暴力団排除条例」が施行され、出雲市民と行政、そして警察が一体となった暴力団排除活動に取り組んでいます。

出雲警察署管内では、皆様のご協力により長年にわたり暴力団の進出を許しておりませんが、今後も暴力団などいない、明るく住みよい社会を維持していくため、今後も協会の皆様と緊密な連携を図りつつ、犯罪のない安心で安全なまちづくりの実現に署員一同誠心誠意取り組んで参りますので、変わらぬご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、本年における一般社団法人島根県出雲地区建設業協会の皆様方のご健勝と益々のご発展を祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。



平成 23 年度施工 島根県優良工事知事表彰

部門	工種	工 事 名	会社名 / 代表者	主任技術者等
土木	道路	(一) 出雲インター線 大島交差点工区 社会資本整備総合交付金 (交通安全) 工事 第 2 期	山陰建設工業 株式会社 代表取締役 磯田 真左一	青木 良夫
		(一) 多伎江南出雲線 下古志工区 社会資本 整備総合交付金 (交通安全) 工事 第 2 期	大和建設 株式会社 代表取締役 水口 賢一	杠 直門
	河川	神戸川 (午頭川) 広域河川改修工事 (護岸工)	株式会社 トガノ建設 代表取締役 梅野 直宏	飯濱 健
建築	建築	島根県立中央病院 感染症診察室棟建設 (建築) 工事	ヒロシ 株式会社 代表取締役 扇子 勇次	小田川 昭二



平成 23 年度施工 優良工事表彰 所長表彰

部門	工種	工 事 名	会社名 / 代表者	主任技術者等
土木	道路	国道 184 号 反辺工区 国庫交付金道路 (災害防除) 工事 その 1	今岡工業 株式会社 代表取締役 今岡 余一良	奥井 正史
		(一) 出雲空港線 沖洲工区 道路環境整備 工事 (きめ細かな交付金)	株式会社 フクダ 代表取締役 長岡 秀治	米山 英一
		国道 431 号 東林木バイパス改築 (改良) 工事 第 1 期	大福工業 株式会社 代表取締役 福代 明正	中尾 宏
		(主) 出雲三刀屋線 船津工区 社会資本整備 総合交付金 (交通安全) 工事 第 2 期	株式会社 今岡興産 代表取締役 今岡 裕統	井上 英昭
		(主) 斐川一畑大社線 灘分工区 県単舗装 整備工事	山口建設 株式会社 代表取締役 山口 弥	松本 健
		(主) 斐川一畑大社線 道路災害復旧工事 (23 災第 19 号)	山本工業 株式会社 代表取締役 山本 高司	林 三義

部門	工種	工 事 名	会社名 / 代表者		主任技術者等
土木	河川	神戸川（新内藤川）総合交付金（下水特治） 工事 第 2 工区（護岸工）	株 式 会 社 中 筋 組		糸川 賢一
		代表取締役	中筋 豊通		
	砂防	赤川 地域活力基盤創造交付金（河川）工事 塩冶 162 号 橋上部工・護岸工	ヒ ロ シ 株 式 会 社		平井 勝年
		代表取締役	扇子 勇次		
		阿式谷川 通常砂防工事 第 2 期	有 限 会 社 間 壁 組		該当なし
			代表取締役	間壁 タマヨ	
田儀地区 県単砂防修繕 （急傾斜：落石対策）工事	株 式 会 社 安 井 組		板垣 祐司		
	代表取締役	安井 和広			
鵜峠地区外 5 地区県単砂防修繕 （急傾斜：落石対策）工事	株 式 会 社 中 筋 組		川上 大		
	代表取締役	中筋 豊通			
建築	建築	出雲警察署 大津新崎職員宿舍改修（建築） 工事	出 雲 土 建 株 式 会 社		有藤 隆行
		代表取締役	石飛 裕司		
		島根県立中央病院 新棟建設（建築）工事	中 筋 組・ト ガ ノ 建 設 特 別 共 同 企 業 体 代表者 株式会社 中筋組		土屋 聡保 内田 修司
代表取締役	中筋 豊通				
農林 水産	農業 土木	平成 23 年度 農地整備事業（経営体育成型） 美談地区中工区区画整理（1）工事	有 限 会 社 米 江 組		宇野 斉
		代表取締役	米江 猛		
	平成 23 年度 県単県営地すべり対策事業 出雲地区 落石対策（段工区）工事	株 式 会 社 フ ク ダ		該当なし	
		代表取締役	長岡 秀治		
	森林 土木	平成 22 年度 林道開設事業（森林管理道） 宮本聖谷線 第 1 工区 道路工事	株 式 会 社 安 井 組		高野 輝久
代表取締役	安井 和広				





『台湾研修旅行記』

有限会社 和田建設

寄 貞 隆 夫

出発当日、朝5時集合という事なので、遅刻して皆さんに迷惑をかけない様にと何個もの目覚まし時計で起床し、眠たい目をこすりながら、また、心細さを持ちながら建設会館へ向いました。

建設会館から米子空港へ。米子空港から羽田空港へ。そして、羽田空港の国際線ロビーへと慌ただしく移動し、そしていよいよ台湾へ向かってフライトです。私自身、初めての台湾でしたので、とても楽しみに飛行機に乗り、台湾到着まで時間を過ごしました。

台北市の松山空港に到着した時、とても日本的な感じがし、なぜか外国に来たという気持ちになりませんでした。（なんとなく残念？）

台北市到着後、市内最古のお寺「龍山寺」その後「中正紀念堂」に案内されました。その中でも、「中正紀念堂」については建物の大きさにインパクトを受けました。紀念堂の中には蒋介石についての展示品が数多くあり、銅像の前には衛兵がピクリとも動かず立っていたのが印象的でした。逆に立っていることだけの事に感動を受けたのは、初めての経験でした。

観光後はホテルにチェックインし、夕食まで時間があつたので何人かの先輩方と近くを市内観光(?)し夕食会場へ向いました。正直ここまでの間、見知らぬ先輩諸兄の方々ばかりでものすごく緊張をしていましたが、この短時間の市内観光をしている間にだいぶ緊張が和らいできました。また、夕食時、その後を含め先輩方と美味しいお酒を酌み交わしいろいろな話が出来たことが、私にとっての本当の旅行の始まりとなりました。

2日目は、世界四大博物館のひとつの国立故宮博物院と台北101(高層ビルです)を観光しました。どちらもスケールの大きさに圧倒されました。また、何処へ行っても中国人観光客の多さ(とっても喧しいです!)にも圧倒されっぱなしでした。

最終日は、忠烈祠の守衛の交代式を見に行きました。初日にも衛兵を見ましたが、交代する時衛兵の軍靴のガシャン、ガシャンの音だけが響き空気がとても張りつめているような感じがし、これまた大変感動しました。台湾での最後の食事は飲茶でした。この飲茶は本当に美味しく、最後の最後に台湾に来て良かったなと思うほどでした。

そしていよいよ松山空港に到着し、帰国手続きを行い2泊3日の台湾研修旅行の終わりが近づいて来ました。建設会館に到着したのは雨の降る真夜中であり、なんとなく心寂しい気持ちにさせる旅の終わりを迎えました。

今回、初めての台湾でありましたし、見知らぬ先輩諸兄ばかりで大変心配しておりましたが、2泊3日の間に多くの方と知り合いになれたのが私の大きな収穫でした。(感謝です)

最後にこの視察研修を企画されました関係各位に心からお礼申し上げます。





平成24年度 経営研修会のご報告

経営改善研究委員会 委員長

クサカ建設 株式会社 日下 雅彦

講演会：「総合評価方式対応のポイント」

講師：(株)総合評価支援センター 代表取締役 永妻勝義 氏

去る11月14日(水)、平成24年度の経営研修会を経営改善研究委員会の担当で開催しました。会員の皆様には大変お忙しい時期に多数ご参加いただきありがとうございました。

今回は、西日本建設業保証(株)様のお世話により(株)総合評価支援センター 代表取締役 永妻勝義様による「総合評価方式対応のポイント」と題してご講演を頂きました。

講演の内容は「総合評価方式のしくみ」「施工計画・技術提案の作り方」「減点されない『施工計画』」「発注者が求める『施工計画』」などについて事例を紹介しながら分かりやすく講演されました。

1. 総合評価方式のしくみ

総合評価方式の基本的なしくみや、評価値の計算方法として除算方式、加算方式についてグラフで分かりやすく説明を受けました。ここでポイントになるのは「施工計画」で技術点を稼ぎ如何に高く落札するかということでした。

2. 施工計画・技術提案の作り方

ここでは、島根県の様式を参考に技術提案の仕方について大切なポイントを実際の事例を見ながらの説明を受けました。

ポイントは、「現場調査で問題点を探すこと」「技術力の本当の意味を知ること」「着眼点の場所と時期を決めること」「成功事例を上手に活用すること」でした。

ここでいう技術力とは高度な技術、専門的知識、etc...ではなく、

その現場での**施工上の問題点を見つけ出す力**のこと。

その現場での**気配り、工夫**をする力のこと。

ほとんどが**既存の技術や知識**で対応できること。

「新技術」が問われているのではないこと。

ということでした。

又、成功事例を参考にその現場にあった提案をすることが一番早道ということでした。

この成功事例(好事例・工夫事例)は建設業協会にデータがありますので是非参考にされたら良いと思います。←これが今回一番の目玉です。

3. 減点されない「施工計画」

以下の4つがポイントだそうです。

仕様書や特記にあることを書くな。

現場と関係ない技術提案はするな。

具体的でない提案は履行確認できない。

減点されない提案が評価される提案。

4. 発注者が求める「施工計画」

以下の4つがポイントだそうです。

着目点(現場状況)、問題点をはっきり書け。

提案の目的、ポイントを簡潔に書け。

詳しい説明では数値を入れろ。

標準案、仕様書との相違点を書け。

発注者の課題をしっかりとくみ取れ。

以上、経営研修会の報告となりますが、研修会に参加された方はもちろんのこと、参加されなかった方も是非成功事例のデータを参考に今後の技術提案に役立てていただき会員各社の発展に繋がればと願っています。



しあわせになろうよ!!

～ 4 回 目 の ～

株式会社 山崎組
代表取締役 山崎 章弘

私は48年前に平田市で生を受けました。今年で4回目のを迎えます。青年部も3年前に卒業し、老体の新入会員のようなものです。今はやりのHRT48です。

ついこの前までは「アラフォー」とか言って酒を飲んで喜んでましたが、気が付いたら「あらっ50」が近づいていました。ああ人生の半分以上が終わったんだなあという実感と、これから先どうなるんだろうという不安とが入り混じっています。まだ40代だから「若い」と言われるんですが、ダメです!! 体が痛んでます。

男は8の倍数の年に身体に変調が現れるとコマーシャルで言っています。確かに最近、歯は痛いし、膝は痛いし、痛風は慢性化するし、酒を飲めば二日酔いで難儀だし、毛根の執着力にも陰りが見えてきたし、下半身の方も福島原発のごとくメルトダウンが近づいているように思えます。擦ると煙でも出て“呼ばれて飛び出てジャジャジャジャーン”とでもなれば良いですけど…。いずれにしても日に日に身体の衰えが身にしみる今日この頃です。

気持ちの持ちようなんでしょうか？まだまだ公私ともにやらなければいけないことが沢山残っています。せめて気持ちだけでも元気で活力ある生活を送っていききたいものです。ただ、私にとって、これからの人生をどう歩んでいくか、どう楽しんでいくか、自分自身でしっかり考えて進んでいかなければならないと思っています。

中島みゆきの“糸”という歌があります。“縦の糸はあなた 横の糸は私 逢うべき糸に出逢えることを人は仕合せと呼びます” こういう歌詞です。

人は、今までに色々な人と出逢い、そこで「愛」を感じ、「愛」で繋がられて生かされている。またこれから先も同じであると思います。私もこの建設業協会を通して、色々な経験をさせて頂きながら、進むべき方向を導いていただいたように思います。今まで出逢ったすべての方を大切に想い、感謝していくことが人の仕合せに繋がっていくのだろうと思います。

これからの人生、特別なことを思うのではなく、ありふれた日々の中で、当たり前のことを当たり前前に思えることが大切なことではないかと思っています。一見簡単なことのように思えますが、結構難しいことかも知れません。人の気持ちとして、そういう穏やかな感情で過ごせることが“しあわせ”というもののなのかも知れません。

神々のふるさとと称される出雲大社の大遷宮を迎える記念すべきこの年に、必要以上に神頼みをしながら…。一度しかない人生ですから、プラス思考で後悔が無いように楽しく生きましょう。私も身体と頭が自分の命令通りに動くうちに、色々なことに挑戦しながら、色々なことを楽しみたいと思います。

無の境地で感謝、しあわせになろうよ!! 合掌。



年男の抱負

大福工業 株式会社
勝部 和則



新年おめでとうございます。

本年は、三度目の年男を迎えることになりました。「年男」と言われると、私自身の成長の遅さを痛感してしまう響きですが...早いなぁと思い出に浸る今日この頃です。

私は、専門学校卒業後、平成9年に大福工業株式会社に入社いたしました。小さな野望を抱きつつ入社した時の配属先は土木部でした。土木部では、志津見ダム関連・土地区画整理事業・下水道工事と様々な事業に関わり、沢山の方々にお世話になって、技術的な事から発注者及び地元の対応までいろんな事を学びました。「物造りとは人と人との繋がりで出来る」と教わったように、多くの人に接し、様々なことを経験し、その後の人生に大いに役立ったように思います。

それから数年後、営業部に異動になり、新たな分野での挑戦です。営業分野は何も分からない世界でしたが、上司を始め、島根県出雲地区建設業協会青年部会への入会により、多くの知己を得、沢山の皆様に助けられ、何とか乗り越えて来る事が出来ました。これらの出会いは、人生においての知識と経験を得ると同時に、ここでも「人との繋がり大切さ」を知り、どの部署でも変わらない事だと実感いたしました。本当に感謝・感謝です。今後も引き続き「人との繋がり」と「感謝」を大切に頑張っていきたいと思っています。

さて、昨年を振り返ってみますと、相変わらずの経済不況で、依然として厳しい状況が続き、建設業界においても工事量は年々減少しております。そんな中、ここ数年で、総合評価方式の導入・単価合意方式・電子納品等、我々を取り巻く環境も著しく変化しました。また、工事成績点が重要視され、品質向上・安全対策・創意工夫・社会性等が求められ、さらに良い物を造ることが我々の使命となっています。

年男である平成25年は、これまでの人生を反省するとともに、これからの人生を考える節目の年と思っています。いろいろ考えてみると視野の狭かった自分に気付き、その視野をもっと広げるために、自分の立場・責任・行動の重要さを自覚し、人間的にももっとスキルアップしたいと思います。そして、少しでも多くの方々に信頼される人間になりたいと思っています。

次回の年男となる12年後はどのような社会になるのかわかりませんが、明日の風に身をまかせるのではなく「自分らで業界全体の未来を切り開く」、その一員になりたいと思っています。

本年も何卒よろしくお願い致します。

各委員会活動状況

一般社団法人島根県出雲地区建設業協会（以下「本会」という。）では、本会の様々な事業を推進するために委員会を設置しております。定款では、事業を推進するために必要あるときは、理事会の決議により、委員会を設置することができるとなっており、総務委員会、経営改善研究委員会、土木委員会、安全委員会及び建築委員会、の五つの委員会を設置して、会員のための福利厚生事業、知識の啓発、情報の提供等を行っております。

安全委員会を除く各委員会の任期は、平成24、25年度の2年間となっております。

《総務委員会》

メンバー構成：本会の正副会長5名で構成しております。

会 長 中 筋 豊 通（株中筋組） 副会長 荒 木 國 夫（昭和開発工業株）

副会長 今岡余一良（今岡工業株） ” 岩 成 健 治（岩成工業株）

” 長 岡 秀 治（株フクダ）

分担事項： 協会の組織、財務、運営に関する事項

関係機関、団体との協力に関する事項

本会の会費の会員別賦課金割当等、本会運営に関する事項

毎月1回定期的に会合を開き、総会及び理事会等に提案する議題など、主に本会の主要な事業の決定、方向付けについて協議検討を行っております。

《経営改善研究委員会》

メンバー構成： 担当副会長 今岡余一良（今岡工業株）

委 員 長 日 下 雅 彦（クサカ建設株） 今 岡 幹 晴（今岡工業株）

副委員長 手 銭 弘 明（宥神門組） 三 原 昇（やたま建設株）

福 田 美 樹（ヒカワ工業株） 山 根 強（宥山根建設）

梅 野 直 宏（株トガノ建設）

分担事項： ニューメディア等情報化の普及推進に関する事項

経営改善の企画と後継者育成に関する事項

実施事業：

- 親睦旅行 平成24年11月2～4日 場 所：台湾台北市 参加者：23人
- 経営研修会 平成24年11月14日 講 演：総合評価方式対応のポイント
- 建設会報の発行 新春号を発行

会員数もピーク時に比べると約三分の二となり、上記事業の参加者等も年々減少傾向にあり、各種事業の見直しや変更等も勘案しながら活動を行っております。

《建築委員会》

メンバー構成： 担当副会長 岩 成 健 治（岩成工業株）

委 員 長 金 築 邦 彦（株御船組） 樋 野 武 年（昭和開発工業株）

副委員長 尾 原 幸 二（株フクダ） 矢 野 淳 一（岩成工業株）

恩 村 章 文（株内藤組） 大 島 健（株岩崎建設）

分担事項： 建築工事の設計、積算に関する事項

建築技術及び施工の向上に関する事項

建築資材に関する事項

労務管理並びに労務需給に関する事項

その他建築工事に関する事項

実施事業：○委員会開催 平成24年9月28日

会員の皆様から要望のあった事項について内容の整理を行い、島根県建設業協会や出雲県土整備事務所に要望活動を行っております。

《土木委員会》

メンバー構成： 担当副会長 長岡秀治（株フクダ）

委員長 名原 芳 昭（今岡工業株） 土江のり子（有丸嘉土建）

副委員長 北 村 広（株中筋組） 藤 江 宏 司（株フクダ）

小 村 孝 男（大福工業株） 安 井 和 広（株安井組）

倉 橋 一 喜（株倉橋工務店）

分担事項： 土木工事の設計、積算に関する事項
土木技術及び施工の向上に関する事項
土木資材に関する事項
労務管理並びに労務需給に関する事項
その他土木工事に関する事項

実施事業：

○委員会開催 平成24年10月15日・11月26日

○出雲県土整備事務所との意見交換会 平成24年12月10日

当委員会では、特に島根県発注に係る公共工事の施工について、入札・契約制度や設計・積算等、施工管理等、工事検査等及び工事関係書類等に係る事項について、会員の意見・要望の取りまとめを行い、出雲県土整備事務所との意見交換を実施しております。出雲県土整備事務所からいただいた回答を文書にまとめ、会員の皆様にお送りし会員の技術力の向上に資することとしております。

《安全委員会》

メンバー構成： 担当副会長 荒 木 國 夫（昭和開発工業株）

委員長 平 井 貴 司（有平井組） 大 島 裕 司（株岩崎建設）

副委員長 三 代 修 治（有斐川建設） 川 角 宣 広（有川角建設）

糸 賀 覚（株内藤組）

加 納 悟（有ナギラ建工） 現在1名の欠員

分担事項： 工事の安全施工に関する事項
建設業従事者の労働、交通安全に関する事項

実施事業：

○特別安全パトロール 7月10日

○安全パトロール 9月19日（第1回）、2月頃予定（第2回）

○役所合同安全パトロール 11月19日

○夜間パトロール 8月8日（第1回）、12月11日（第2回）

○現場代理人安全管理研修会 7月31日（第1回）、2月予定（第2回）

○全国建設業労働災害防止大会へ参加（10月18～19日）

安全委員は、建設業労働災害防止協会から安全指導者に委嘱されており、任期は2月1日から翌々年の1月31日までと、他の委員会の任期とは異なっております。

このほか、安全資料の収集及び配布も行っており、また安全委員自身のレベルアップを図るため、各種安全講習会への参加、安全パトロールを通じて会員の安全指導を行っております。

インターンシップ事業に協力しています

当出雲地区建設業協会では、毎年出雲市内にある出雲農林高等学校、出雲工業高等学校からインターンシップ（現場実習）事業の協力要請に基づき、会員企業に学生の受け入れを依頼しており、学生を受け入れた会員企業は、産業現場での就業体験を通じ社会生活のルール及びマナーを教え、実社会へ旅立つための支援活動を行っております。

インターンシップの目的は、産業現場で勤労体験をすることにより、学習の進化及び個性の伸長と進路意識の高揚が図られると共に、協調性を養い、地域産業の認識を深めることにあります。

このインターンシップの受け入れは、実習計画の作成や生徒の指導、学校への指導結果報告等企業としても負担も多いが、地域への就職・雇用に大いに貢献し、加えて社会人としての事前訓練にもなっているものと考えます。

インターンシップ 体験談



島根県立出雲工業高等学校

建築科 2年 山根 勇哉

11月6日から8日にかけてインターンシップが行われました。短いようで長いような3日間でした。自分がお世話になった事業所は㈱中筋組。社員数は117名。土木・建築工事、上下水道工事や太陽光発電システム設置などの事業を展開されており、一級建築士が何人もおられる事業所です。

第一日目。いきなり遅刻しそうになり、余裕をもって行動すべきであることを早々実感してしまいました。そんなことを思った朝、さっそく会社の担当者の方から説明を受けました。会社のこと、インターンシップのこと、そして社会人になるということなど色々なお話をしていただきました。午後は、壁量計算という設計には大変重要なことを教わりました。その時にどこからか分厚い、それこそ広辞苑並みのファイルを取りだされてその説明を受けました。県に提出する資料、簡単に言うと「良い家だ」ということを証明するための資料ということでしたが、その量の多さに驚きを通り越して呆然としてしまいました。この日の最後は現場見学へと行きました。工事現場の中は何となくワクワクし、明日からの現場が楽しみになりました。

第二日目。今日は余裕を持って出社できました。今日の現場は松江市の「メガネの三城」の新築現場でした。到着して自分たちを迎え入れてくれたのは、緊張感漂う空気、丁寧かつスピーディに動く現場の人たち。「工期が短い。」と話されたのは、ちょっと疲れた顔の現場監督であり、今日の担当者の方。その方は自分たちに建物の説明をされた後、墨だし、レベルの指示をされました。どちらもこの後の工事に使われるということで、きちんと作業をしたつもりでも少し不安になりました。担当の方は、自分たちが作業している間にも他の指示やらで動き回っておられ、自分達の世話まで本当に申し訳ないと思ってしまう程でした。

第三日目、最終日。今日の現場は木造の現場です。木の匂いは落ち着きます。担当者の方は、自分たちに説明されている間にも進捗の状況を話し合ったり、携帯で連絡したりと大変そうでした。消費税が高くなる前に建ててしまおうとする人が増えて、数件を同時に担当する状態になっているそうです。担当の方からは、「現場監督というのは現場で指示だけでなく、現場で変更があった場合など関係する業者全部に連絡するのも役目だ。」と教えていただきました。

この三日間、それぞれの担当者から色々なことを学びました。忙しい中、皆さんには大変お世話になりとても感謝しています。「忙しく大変だ。」と話されながらも、やりがいのある顔をされていた皆さん。自分もやりがいのある仕事に巡り合いたいと思いました。





島根県立出雲農林高等学校

環境科学科 2年 今若 純也

私は、山陰建設工業で様々な研修を体験させていただきました。

まず、会社のすぐ横にある重機置き場で、色々な種類の重機について、名前や特徴、用途などの説明を受けました。その中で、最新型のバックホーが数々の快適な装備をつけていることが印象に残りました。作業する人の負担を軽減し、安全に作業を進められるために必要なものだと思います。

次に、周辺地域の除草作業に向かいました。担当の方から、会社として地域貢献も大事な仕事のひとつだと教えられ、作業はとても大変でしたが一生懸命に取り組むことが出来ました。除草作業にあたって交通の流れを阻害しないようにと、警備会社の人を呼んで交通整理をしてもらいながらの作業でした。除草一つとっても様々な配慮が必要だということが分かりました。

自分の母校の中学校での作業も印象に残りました。路盤を作り、その上にコンクリートを敷き詰める作業でしたが、コンクリートが厚くて大変でした。一見簡単そうに見えましたが、実際にやってみると何度やっても綺麗に敷き詰めることが出来ませんでした。綺麗に仕上げるコツを教えてもらい挑戦しましたが、自分では納得できる仕上がりになりませんでした。やはり仕事として作業するためには、仕上がりの美しさも当然要求されると思います。そこで生きてくるのがそれまでの経験ではないかと思います。初めて挑戦した私にできるほど甘くはないなと思うと共に、それが経験の差なんだと思いました。

この他にも、新しい道路を造るための測量の手伝いなど、色々な経験をさせてもらいました。今回の職場体験を通して感じたことは、仕事をする上でいかに効率よく、しかも安全に作業できるかということを常に考えていかなければならないということです。そのためには相応の知識や技術が必要になってきます。その勉強をしているのが現在の私達であり、今後も日々努力していくことが必要だと思いました。



島根県立出雲農林高等学校

環境科学科 2年 成 相 学

私は、インターンシップで今岡工業に行きました。そこで沢山の事を学ぶことが出来ました。現場見学会以外で実際の建設現場に行ったことのない自分にとって、現在進行中の現場を見学したり、作業を体験することはとても新鮮でした。

斐伊川・神戸川の放水路に関連する道路工事の現場では、道路を造るために山を削り、そこを測量しておられる様子や、トンネル工事の様子を見学しました。トンネル内はまだ地面が土の状態で、完成前のトンネルを見るのは初めてでした。トンネル完成後は、自動車専用のトンネルとなるので、貴重な経験が出来たと思います。

また、道路を造っている現場では測量を体験させてもらいました。これまで、学校の授業や実習で経験してきた測量に加え、まだ習ったことのない方法や、見たことのない器械を使っただけで、とても勉強になりました。私は、器械を上手く操作して、必要な数値を正確に求めるのが苦手でしたが、担当の方から器械操作のコツや測量をするときの注意事項などを教えていただき、思った以上にスムーズに作業を進めることが出来ました。

私は、今回のインターンシップを通して、現在学んでいる専門科目の必要性や土木技術の凄さを再確認することが出来ました。私達が普段当たり前のように使っている道路や橋などの土木構造物は、正確な測量と緻密な設計、万全な施工技術が組み合わされ、安心して使えているということを改めて実感することが出来ました。

また、今回のインターンシップでは、実際に働いておられる人の仕事に対する姿勢もすごく勉強になりました。仕事しておられる方々は当然の事ながら、作業服のボタンを全てとめ、しっかりとベルトをして、きちんとヘルメットをかぶって仕事に取り組んでおられます。全ては安全に仕事を遂行するためであり、暑い時など作業服の着方が雑になりがちな私達とは全然違うと思いました。服装だけでなく、同じ作業をするにしても、準備から実際の作業、片付けまで非常に効率よく取り組んでおられるところも印象に残りました。

現在学んでいる学校での授業や実習の意義を再確認できた今回のインターンシップは、自分にとってとても有意義であったと思いました。



～ 新分野事業を始めて～

有限会社 山根建設

山 根 強

昨年、10月19日より「大阪名物いか焼きみなせん」という移動販売車で「いか焼き」の販売事業を始めました。

新分野での事業をはじめてみたいという思いは以前からありましたが、考えているだけの状態で数年が経ち、具体的に動き出したのは一昨年の12月頃からでした。しかし、異業種でのノウハウもなければお金もありません。皆様によるこんで頂けるもので、低資金で素人でも始められそうなものはないか調査しました。一から事業を始めるのは難しいと考え、フランチャイズの形態で始められないか検討しました。フランチャイズ公募のサイトを見て様々な会社の資料を取寄せました。その中に「大阪名物いか焼き」の移動販売事業がありました。学生時代に阪神電車の駅で食べたことがあり、旨くて値段も安かったことを思い出しました。早速、説明会に参加し、実際にいか焼きを作る工程を見て、試食もしました。旨い、安い、調理が簡単、開業資金も少ない、これならできのではと、事業化に向けて準備を始めました。

資金面は島根県と出雲市の「建設産業新分野進出促進事業補助金」を申請させて頂きました。補助金の申請は事業計画書など書類がいろいろとありました。島根県、平田商工会議所のご指導や新分野事業を始めておられる周囲の方々のアドバイスを頂きました。また、事業の計画においても、売上予測や収支の計画を立てるための市場調査の方法など様々なことも新分野事業を始めておられる先輩にアドバイスを頂きました。

いよいよ営業に向けて動き出すことになり、本部とフランチャイズの契約を結び、オペレーションの研修を受けました。仕込から調理、販売までを習いましたが、簡単そうに見えてこれが意外と大変でお客様に早く提供できるようにまで練習を重ね、生地の水加減やソースの量など、社内で試食会を行い営業開始に備えました。

初営業は10月19日～21日出雲ドームで開催された㈱原商様の50周年記念イベントに出店させて頂きました。始めは前を通り過ぎられるだけで、声を掛けても来て頂けませんでした。気にはなるけど何かよくわからないという感じで「失敗したかな…」と思っていた時1人目のお客様が来られ、徐々にお客様が増え、車の前に並んで頂けるようになりました。お客様に「おいしかったよ」など、声をかけて頂けたことが本当に嬉しく、それが何よりの原動力となり、体の疲れも忘れてイベント終了までひたすらイカを焼きました。また、「いらっしゃいませ」「ありがとうございました」「またお願いします」といった言葉も感謝の気持ちから自然と出てくるのだと実感しました。初営業がいきなりのビッグイベントで あたふた しながらでしたが、様々な勉強が出来た貴重な3日間でした。

移動販売は売手とお客様との対面販売です。目の前で調理し、商品を渡し代金を頂きます。緊張感もありますが、お客様の喜びの声や意見、感想を直に聞くことができます。このことがこの商売の醍醐味であると感じました。

現在までいろいろな方のご厚意で、地域のイベントや店舗の駐車場に出店させて頂き、お客様からはいろいろな

意見を頂き改善をしながら営業をしてきました。最近は一ピーターのお客様も来られるようになり、好評を頂いております。はじめて2カ月になりますが、まだまだPR不足で目標とするところには至っていません。今後も市内を中心に、出店場所を増やし、アンテナを張って様々なイベントにも積極的に出店したいと思います。また、地元の食材を使ったメニューを開発し地産地消の面でも貢献したいと思います。

新分野事業を始めて思うことはやはり、周りの方のあたたかさです。いろいろな方のおかげで事業をさせて頂いていることを改めて感じました。これからも「おかげ様」「感謝」の気持ちを忘れずに事業を続けて行きたいと思っています。

写真の車を見かけられましたら是非、お立寄り頂きますようお願い申し上げます。



いか焼き 200円



いか玉 250円



いかせん 200円



ぶた焼き 300円



URL : www.minasen366.com

秘伝の小麦粉と山芋を練り込んだモチモチの生地、プリップリのイカ、フルーツをふんだんに使った秘伝のソースでお召し上がりください。

イカの効能

イカは低カロリー・高タンパクでビタミンE、タウリンが豊富です。
動脈硬化予防、肝機能強化、高血圧予防、美容・美肌効果があります。



第25回

サラリーマン川柳

ベスト10

一位

「宝くじ
当たれば辞める」が
合言葉

事務員 A

三位

妻が言う

「承知しました」
聞いてみたい

大魔神

二位

女子会と
聴いて覗けば
六十代

ビート留守

四位

スマートフォン
妻と同じで
操れず
妻とフォン

五位

EXCELを
エグザイルと
読む部長
怪傑もぐり33世

六位

何気ない
暮らしが何より
宝物
考えボーイ

七位

胃カメラじゃ
決して見えない
腹黒さ
レントゲン

八位

立ち上がり
目的忘れ
また座る
健忘術数

九位

定年後
田舎に帰れば
青年部
フミヤフrendロークラブ

十位

最近
忘れるよりも
覚えない
てくてく



第25回 第一生命
サラリーマン川柳コンクールより



「ありがとうございました」

一般社団法人 島根県出雲地区建設業協会

事務局 大瀧 光 枝

昭和46年3月10日に入社して42年、平成25年3月31日をもって定年退職することになりました。本当に長い間いろいろとお世話になり有り難うございました。本当に感謝しても感謝してもきれません。その間、多くの方々と出会い、いろいろご指導をいただき、いろいろな事を学び、ご迷惑もたくさんお掛けし、そして別れもありました。この経験が私の一生の宝物です！

今、思い起こすとあつと言う間の出来事のように思えます。特に印象深いのが

- ・入社した当時のこと（一人窓際に座り1日外の景色を眺めて過ごした…）
- ・1年9ヶ月め上司の方が結婚退職され、2ヶ月ちょっと1人になり、その後、手銭さんとずーっと一緒に仕事をしたこと（ありがとう）
- ・馬庭会長さん始め、梅野会長さん、中筋会長さん、役員さん委員さん、会員の皆様、そしてその会社の職員の皆様に大変良くしていただいたこと
特に馬庭会長さんが事務所に来られたときのぴーんと張り詰めた空気は今でも忘れません。
- ・初代樋野事務局長から藤井局長、錦織局長、鎌田局長、佐藤局長、松本局長、大上局長、小野局長と8人の事務局長さんの下で仕事をしたこと
（皆さん個性豊なとても良い局長さんでした。お世話になりました。）
- ・事務局職員の皆さんとの出会いと別れ、一緒に仕事をしたこと
- ・研修視察旅行でいろいろな所へ行かせていただいたこと
特に入社した時の京都嵐山、真夏の青森ねぶた、60周年さっぽろ雪祭り、今年行った台湾（忠烈祠の衛兵交代式・足ツボ・飲茶）は印象に残ってます。
- ・建設会館新築移転のこと（引越しが大変でした）
大津の会館が壊されるのを見るなど言われ、9号線を避けて通ったこと
- ・私ながらに公共工事が削減され、工事量が減少し不安な気持ちになったこと。

等々まだたくさんあります。

いつも「初心忘るべからず」、「笑顔で」と心に思っ仕事をしていましたが、ある旅行先で、某社長さんから、「とにかくお前は笑顔で、こんにちは、いらっしやいませと挨拶をしなさい」と言われ、反省しきり…いつも笑顔でと思いつつも、表情が暗かった時もあったのかと、忠告していただける社長さんがいらっしやることは、私にとって本当に有り難かったです。

普通の会社と違い、協会へは各社の社長さんがよく来られ、いろいろなお話をします。当たり前のように話してますが、自分の会社へ帰られれば一社の長です。もっと礼節を持って接しなければと思いつつも、つい親しく話してしまい、また、社長さん方も気軽に話して下さいました。大変有り難かったです。

入社以来、習慣になったものがあります。それは、走行中、工事現場を見かけた時に、何処の会社が施工しておられるかなあと、工事看板に直ぐ目が行きます。〇〇会社が工事をしておられるのか、無事故でねと心の中でささやいて通ります。次に通った時は、工期はいつまでだろう？寒く（暑く）なるので頑張ってくださいね。完成後は、良い工事をされたなあ、綺麗になったなあ嬉しくなり、お疲れ様と心の中で言って通ります。退職してからこの思いは続きそうです。

まだまだいろいろな思いは沢山ありますが、文章の苦手な私にはなかなか書き尽くすことができません。

皆様方のお陰で健康で大過なく勤めさせていただきましたことを、深く感謝いたします。

会員の皆様の一層のご発展とご活躍をお祈りいたします。

本当に長い間ありがとうございました。



編 集 後 記

2012年12月、自由民主党が総選挙に勝利し3年3ヵ月ぶりに政権政党に復活を果たし、安倍晋三内閣が誕生いたしました。政権発足時から市場からの期待が大きく、株価は上昇し円は安くなるなど経済は明るい兆しが見えています。また公共事業を柱とする13兆円超の大型補正予算が閣議決定され、我々建設業界にも追風になることが期待されています。

2009年に「コンクリートから人へ」という、キャッチフレーズで民主党は政権をとりました。しかしながら東日本大震災では現在のコンクリート（波返し・防波堤等）では人を守れず、中央自動車道・笹子トンネルの天井崩落事故ではコンクリートの下敷きになり、9人もの人が命を落とすという皮肉な事故があり、公共事業に対する国民やマスコミの考え方にも変化が見えてきています。

「国土強靱化計画」によりますと

経済等における過度の効率性の追求の結果としての一極集中、国土の脆弱性の是正
地域間交流・連携の促進、特性を生かした地域振興、地域社会の活性化、定住の促進
大規模災害の未然防止、発生時の被害拡大の防止、国家社会機能の代替性の確保
を基本理念とし「長期間にわたって持続可能な国家機能・日本社会の構築を図る」とされています。特別な事ではなく国家として極、普通な事ではないでしょうか？

10数年来「公共事業・建設業＝悪」とされてきましたが、今こそ公共事業・建設業の必要性・真価を問われており、政治に任せるだけではなく業界として社会・地域に対して示す努力が必要だと思えます。

話は変わりますが、1月よりNHK大河ドラマ「八重の桜」が始まりました。ドラマの中で子供たちが「じゅう 什の掟（おきて 子弟教育7カ条）」を読み上げるシーンがでています。

・虚言（ウソ）を言ふことはなりませぬ。・卑怯な振る舞いをしてはなりませぬ。・弱いものをいぢめてはなりませぬ。・・・（HP：NHK大河ドラマ「八重の桜」より）

どこかの誰かに聞かせてあげたいセリフですが、新しい追い風を期待して、何はともあれ2013年が皆様方にとって良い一年でありますように。



一般社団法人
編集・発行人 島根県出雲地区建設業協会
経営改善研究委員会